三条別院のご案内

MONTHLY NEWSLETTER FROM
SANJO-BETSUIN 2026.11

Tel 0256-33-0007　E-mail sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp　HP https://sanjobetsuin.or.jp

三条別院に想う

「お寺で演劇をつくるということ」

相木　隆行　氏

（シアターサンジョーゴボー演出・ハイキッククリエイティブ代表）

シアターサンジョーゴボー第10回記念公演、おめでとうございます。

私は昨年、芥川龍之介の『桃太郎』を原作とした演劇『汽水域』の演出を担当したことが、この企画の初参加でした。そして今年、第10回記念公演という節目に、再び演出を務めさせていただくことになりました。

三条別院では、毎年、報恩講の折に演劇を上演するという試みが続けられています。お寺で演劇をする。そのことをあらためて考えると、そこには大きな可能性があるように感じます。

演劇は、人間を描く表現です。人はなぜ迷うのか、なぜ誰かを傷つけてしまうのか、何を求め、何に苦しみながら生きているのか。舞台の上で表現されるのは、特別な誰かの物語であると同時に、私たち自身にもつながる人間の姿です。観る人は登場人物の人生を追いながら、いつの間にか自分自身のことを考えている。そこに演劇の面白さがあると思っています。

お寺もまた、人が自分自身の生き方や心と向き合う場所ではないでしょうか。そう考えると、演劇とお寺は、一見違うもののようでいて、人間を見つめるという点で通じ合うところがあるように思います。

もちろん、演劇は教えをわかりやすく説明するためだけのものではありません。登場人物の言葉や行動に戸惑ったり、簡単には答えの出ない問いを持ち帰ったりすることもあります。けれど、その問いを誰かと分かち合い、自分とは異なる考え方に触れることもまた、大切な経験なのだと思います。

昨年初めて参加し、作品を創る中で、私自身も多くのことを考えさせられました。そして今年、再びこの場に関わることができるのを、とてもありがたく感じています。毎年の報恩講に演劇を届けるという営みが、出演者やスタッフにとっても、観に来てくださる皆さんにとっても、新たな出会いや発見の機会になっていくことを願っています。

第10回記念公演という節目に、演劇だからこそできることを考えながら、仲間たちと舞台を創ってまいります。この試みがこれからも続き、三条別院に集う皆さんと演劇との出会いが、少しずつ広がっていってくれたら嬉しく思います。



▲演出の相木さん

○次回の「三条別院に想う」は、

推耳 妙子 氏（中越13組廣永寺）よりご執筆いただきます。

【今月のトピック記事】

お取り越し報恩講がお勤まりになります

定例法話は「無爲信寺 香樹院釈徳龍」

11 月 12 月
ピックアップ

基本どなたでもお参りいただけます。
詳しくはホームページ及び案内チラシをご覧ください。
行事報告は基本はホームページで別院だよりでは不定期で行います。


【佐賀枝 夏文 氏】


【桂　春蝶 氏】



【武田　真 氏】


【豊富な資料でお話しいただいた】

▼三条別院お取り越し報恩講

11 月 5 日（木）から 8 日（日）までお待ち受け音楽法要を皮切りに、お取り越し報恩講がお勤まりになります。既に団体参拝は締切り、多くの申し込みをいただいておりますが、ぜひ個人参拝もお願いいたします。

【法話講師】
佐賀枝 夏文 氏（大谷大学名誉教授）
11 月 5 日、6 日　13:00～13:50

桂　春蝶 師　落語「鏡の中の親鸞～『歎異抄』より」
11 月 7 日、8 日（7 日 12:50～14:20、8 日 13:10～14:40）

【宗祖親鸞聖人御誕生 850 年立教開宗 800 年慶讃特別事業】
釈徹宗氏（相愛大学学長）監修の創作落語。
あらすじ　執筆活動だけでなく、生きることそのものに悩める文豪・太宰治が不思議な夢をみる。夢に登場したのは念仏者・親鸞とその弟子・唯円。「善人なおもって往生をとぐ、いわんや悪人をや」「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」自力とは、他力とは、念仏とは？苦悩する太宰に、親鸞が伝えた救いのことばとは……。

▼定例法話

11 月 13 日（金）13 時 30 分から 15 時
武田　真 氏（第 23 組無爲信寺住職）
「香樹院釈徳龍」
第 1 回「無為信寺の歴史」はおかげさまでたくさんのご参詣をいただきました。記録は三条別院公式 YouTube チャンネルをご視聴ください。
次回は無爲信寺から本山の講師を勤めた香樹院釈徳龍についてです。

◆今後の講師一覧
12 月 13 日（日）両眼人輪読会
2027 年 2 月 13 日（土）・3 月 13 日（土）輪読会
4 月 13 日（火）　山口 昭彦 氏（本山内事部非常勤嘱託）
「東本願寺の報恩講について」
5 月 13 日（木）　輪読会
6 月 13 日（日）　安藤 弥 氏（同朋大学教授）



▼庭講・冬囲い研修

11 月 13 日（金）9 時から 12 時
畠 弥真人 氏（庭師・造園会社 藍庭代表）
講義と実施講習（境内地）
参加費　1,000 円
庭の冬囲いの縄の縛り方、竹の組み方、吊り方など、現役の庭師から講義と実技指導していただきます。
※荒縄、竹類は別院で用意します。

▼御命日のつどい

本多 智之 氏（第 18 組永傳寺）御文三帖目第十一通「毎年不闕」
2026 年 11 月 28 日（土）10 時から 12 時（勤行、法話、座談）
法話テーマ―蓮如上人の『御文』に聞く

本堂にて日中法要、その後旧御堂で法話・座談会の場を開いております。
なお前日（27 日）はお逮夜法要を 13 時 30 分よりお勤めしております。
◆会　場　三条別院 本堂・旧御堂
◆お勤め（御命日　日中法要）
正信偈　真四句目下
念仏讃　淘五
　　和讃　回り口　次第六首
回向　願以此功徳
◆今後の講師一覧
12 月 塚本 智秀 氏（第 18 組等運寺）御文三帖目第七通「三業」

▼御煤払い奉仕団（予告）

2026 年 12 月 20 日（日）9 時から 12 時（勤行、法話、座談）
詳しくは次号お知らせします。

▼公式ＬＩＮＥを始めました

行事のご案内・報告のために公式 LINE を始めました。また、2026 年の「朝の人生講座」「秋彼岸会」「定例法話」の動画記録（公式 YouTube）の更新状況なども逐一お知らせしますので、登録をお願いします。
なお、基本は参拝されることを前提に職員が作業を行っておりますので記録しきれない場合があることをご了承ください。

▼御正忌団体参拝の意見募集中！

参加者数の減少・燃料費等の高騰により本年の御正忌団参は中止が決定しておりますが、来年の 11 月 21 日から 28 日の本山御正忌報恩講の別院団体参拝の日程等見直しに向けて、アンケートを実施しております。どなたでもご回答いただけます（無記名可）。ご関心のある方は左記 QR コードよりご回答いただけます。

その他の講座案内＆随時募集中

〇別院声明教室

夜の部（18 時～20 時）昼の部（15 時～17 時）
昼の部講師　別院列座　夜の部講師　倉井 光弥氏（中越 11 組養泉寺）
~~9 月 15 日（火）~~（済）・~~10 月 2 日（金）~~（済）・~~10 月 23 日（金）~~（済）・
11 月 17 日（火）・12 月 14 日（月）（全 5 回）
昼の部は赤本（正信偈草四句目下念讃淘三）、日常法務、夜の部は正像末和讃の繰読みです。日程は同朋会館のチラシをご覧ください。

〇別院書道教室（東友会）

［毎月第 2、第 4 水曜日 18 時 30 分～20 時］
講師 木原　光威 氏（新潟県書道協会理事）月謝 3,500 円（テキスト代含）



〇有志の会庭講［毎月 13 日］

ご一緒に別院のお庭を整備しませんか？　毎月 13 日 10 時から、午後は定例法話を聴聞します。1 月と 8 月は休会です。

【おみがき・清掃奉仕研修報告】

9 月 13 日(日)、10 月 13 日（火)、10 月 19 日（月）　各日 9 時から 12 時
参加人数　第 1 回 31 名　第 2 回 50 名　第 3 回 43 名

全 3 回の参加延べ人数 124 名と多くの方々に奉仕研修にご参加していただきました。皆様、ありがとうございました。光り輝く仏具を前に、ご一緒に三条別院のお取り越し報恩講をお迎えしましょう。

〇有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

〇別院奉仕研修について

【奉仕研修冥加金】
1 人あたり半日（午前または午後）500 円、1 日 1,000 円
1 泊 2 日は上記の冥加金に順じて半日 500 円で計算する。

【その他実費でいただくもの】
①講師謝礼　列座によるお内仏のお給仕・法話は研修冥加金に含まれる。
②シーツ等クリーニング代 1,200 円（業者の価格が値上がりのため）
③食事代　その他ご要望等ご相談承ります。

〇団体参拝及び諸殿拝観について

列座が諸殿拝観などを行います。日程等お気軽にご相談ください。

〇フードバンクを継続募集中

―10 月の別院フードドライブにご協力いただいた御寺院・御門徒―

匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は 11 月 24 日（火）です。



▼第 19 組改観寺雑巾講　雑巾贈呈式が行われました【報告】

10 月 14 日(水)、第 19 組改観寺雑巾講の皆さんに縫って頂いた雑巾 194 枚の贈呈式が行われました。

雑巾はお取り越し報恩講準備の他、別院の日々の清掃のために大切につかわせていただきます。皆さん、ありがとうございました。









▼各種習礼が大詰めです【報告】

お取り越し報恩講に向けて、儀式作法講習会（内陣出退作法）・助音・掛役習礼・音楽法要合唱練習などがいよいよ大詰めになってきています。

いよいよ崇敬区域を挙げてお勤まりになる三条別院お取り越し報恩講が、近づいて参りました！

編集後記

本年も 11 月 5 日(木)から 8 日(日)まで、三条別院お取り越し報恩講がお勤まりになります。

別院・自坊にて報恩講の時期になると、あらためて真宗寺院としての思いを抱かされますが、昨今の事情で報恩講を縮小したり、またご自坊の事情により報恩講をお勤まりできないご寺院のことを考えると、これが「あたりまえ」の事ではなく、出遇わせていただく場に身を置ける事自体が「ありがたい」ことと感ぜずにはいられません。

しかし、共に正信偈をお勤めすることができる門徒さんが減りつつあり、また「宗派にこだわらず葬儀を勤めてくれて、ご尊骨を収める墓さえあれば、特にお内仏もいらない」という門徒(？)さんが増えていることが理由となって、私に「報恩講の場に身を置き続けることが真宗僧侶の矜持」という思い(我)を幾ばくか抱かせているのならば、そこは非常に悲しい事であります。

そういうことではなく、大事な「ありがたい」ものを「あたりまえ」のものとして、それが次世代に繋がれていき、親鸞聖人に出遇わせていただく。

そして、その中に自身がいる。

その様なことを考えながら、今年もお取り越しをお迎えします。

(松浦)